

専門学校大阪デザイナー・アカデミー 情報公開資料

1. 学校の概要

建学の精神

大阪デザイナー・アカデミー(以下、本校という)は、学校法人Adachi学園創立者で初代理事長安達建之助の『建学の理念』に則り、昭和37年に大阪デザイナー学院として開校した。昭和51年に専修学校の認可を受け大阪デザイナー専門学校と改称。平成17年に法人名を大阪安達学園、平成29年に全国17校の姉妹校合併により学校法人東京安達学園と改称。同年11月に学校法人Adachi学園(以下、学園という)に改称した。

そして2024年度から田坂広志氏を学長に迎え、法人名を21世紀アカデミアに、校名を専門学校 大阪デザイナー・アカデミーに改称。12学科と1年制研究科を設置する総合のデザイン専門学校である。

— 学校法人21世紀アカデミア 教育の理念 —
『第四次産業革命・AI時代に活躍する人材育成』を使命に、
業界や社会において、優れたリーダーシップを発揮するための能力を開発する。

— 学校法人21世紀アカデミア 設置目的 —
教育基本法及び学校教育法に従い、専修学校教育を行い、実社会に役立つ
知識・技能をもった人材を育成する事を目的とする。

所在地・校長名

【所在地】

- 専門学校大阪デザイナー・アカデミー 本校舎 大阪府大阪市北区堂島2-3-20

【その他施設】

- 専門学校大阪デザイナー・アカデミー D2号館 大阪府大阪市北区堂島2-17-1

【校長名】

- 高野 真一(タカノ シンイチ)

沿革・歴史

1958年(昭和33年)	大阪デザイン研究所 設立
1961年(昭和37年)	大阪デザイナー学院 設立
1966年(昭和41年)	大阪写真専門学校 設立
1968年(昭和43年)	大阪デザイナー学院 学校法人認可
1972年(昭和47年)	大阪写真専門学校 設置認可
1977年(昭和52年)	大阪デザイナー専門学校(旧大阪デザイナー学院)専修学校認可
1982年(昭和57年)	大阪ビジネスカレッジ専門学校 認可設立
1984年(昭和59年)	大阪デザイナー専門学校 堂島新校舎完成
1985年(昭和60年)	大阪観光専門学校 設置認可 (大阪ビジネスカレッジ専門学校 観光専門課程を分離独立)
1994年(平成6年)	ビジュアルアーツ専門学校(旧大阪写真専門学校)校名改称
1999年(平成11年)	ビジュアルアーツ専門学校 新校舎完成
2001年(平成13年)	トレーニングセンター(実習棟)完成
2005年(平成23年)	法人名改称 学校法人大阪安達学園(旧大阪デザイナー学院)
2011年(平成23年)	大阪デザイナー専門学校(旧大阪デザイナー学院)創立50周年
2017年(平成29年)	法人合併に伴い、学校法人東京安達学園(旧大阪安達学園)に改称 学校法人Adachi学園(旧東京安達学園)に改称
2022年(令和4年)	大阪デザイナー専門学校(旧大阪デザイナー学院)創立60周年60ホール完成(本校舎1階)
2024年(令和6年)	学校法人21世紀アカデミア(旧Adachi学園)に改称 専門学校大阪デザイナー・アカデミー(大阪デザイナー専門学校)校名改称

2. 各学科等の教育

設置学科の入学定員・収容定員(2026年度)

課程	学科名	修業年限	昼夜	入学定員	総定員	備考
デザイン 専門課程	グラフィックデザイン学科	2カ年	昼 間 部	100	200	
	イラストレーション学科	2カ年		50	100	
	ゲーム・CG学科	2カ年		40	80	
	アニメーション学科	2カ年		40	80	
	フィギュアデザイン学科	2カ年		30	60	
	マンガ学科	2カ年		30	60	
	コミックイラスト学科	2カ年		100	200	
	インテリアデザイン学科	2カ年		30	60	
	インテリアコーディネート学科	2カ年		30	60	
	プロダクトデザイン学科	2カ年		40	80	
	ファッションデザイン学科	2カ年		20	40	
	特殊メイク学科	2カ年		20	40	
	研究科	1カ年		40	40	
	合 計				570	1,100

教育内容・教育目標

■ グラフィックデザイン学科

パソコンを使ったデザインスキルはもとよりユニークなアイデアや発想力、センスを磨き、あらゆる情報を広告やポスター、パッケージ、モーショングラフィック、雑誌、本、Webなどに表現出来る業界の第一線で活躍出来るプロのグラフィックデザイナーを目指す。

■ イラストレーション学科

絵を描く事を深く、楽しく学び、描く技術や表現手法、画材・作家の知識だけでなくイラストレーションに必要な伝える力、セルフプロモーション力をつける事で業界で活躍出来る「絵を描くこと」のプロを目指す。

■ ゲーム・CG学科

PCスキルやアニメ・ゲームに関する基礎知識はもちろんペンタブレットを使ったCG イラストテクニックから最新の3DCGや映像合成に関するテクニック等、即戦力を磨ける制作環境で学び、ゲームやCG映像業界で活躍するプロを目指す。

■ アニメーション学科

世界に認められるクールジャパンのひとつ「アニメーション」。作画、ペイント、撮影・編集などアニメ制作における全ての技術と知識を修得する。世界の人々を驚かし、感動を作り出す即戦力のプロのアニメーターを目指す。

■ フィギュアデザイン学科

アニメなどで活躍するキャラクター、多くの人に愛されるマスコットなど、キャラクターの表現は様々。それらを表現するデザインの基礎から始め、最新の3D技術を身につけ、魅力的なフィギュア・ドールを生み出す事が出来る原型師、造形作家を目指す。

■ マンガ学科

今や日本の文化を代表する「マンガ」。表情豊かなキャラクター、独創的なストーリーで感動を生み出す。ペンのテクニックからデジタルマンガの知識・技術まで漫画家デビューの必要な事は全て学ぶ。次世代のクールジャパンを担うプロマンガ家を目指す。

■ コミックイラスト学科

様々なストーリーを設定し個性あふれる手法でキャラクターを表現する。画材の知識はもちろん、ペンタブレットやグラフィックソフトのテクニックもマスターし業界で活躍するプロのアーティスト、コミックイラストレーターを目指す。

■ インテリアデザイン学科

インテリアデザイナーに必要な制作技術、専門知識の習得はもとより幅広い作家、作品研究を行う事で、業界に求められる思考力、表現力、プレゼンテーション力を磨く。センスと知識、技術を併せ持ち業界の最前線で空間づくりが出来るデザイナーを目指す。

■ インテリアコーディネート学科

決められた空間の中を様々な素材や家具、照明効果を活かして演出するプロを目指す。家具や素材の知識、歴史、コーディネートのノウハウを身につけ、ディスプレイなど素敵な空間演出が提案出来るプロを目指す。

■ プロダクトデザイン学科

家具、家電、車、文房具、生活雑貨など人々の暮らしに関わる「もの」をデザインするプロダクトデザイナー。工房での制作技術やパソコンを使ったデザイン、プレゼンテクニックまで。「もの」が持つ役割、人との関わり方などを深く考えデザインするプロを目指す。

■ ファッションデザイン学科

新しいファッションを世の中に発信、トレンドを生み出すファッションデザイナーやアクセサリデザイナーを目指す。服やアクセサリをデザインする制作技術やコーディネートセンスを磨くと同時に流行を捉えるリサーチ力やマーケティング力も身につける。

■ 特殊メイク学科

映画や特撮での特殊メイクや、テーマパークでの演出など、活躍の場が驚く程広い特殊造形の世界。立体造形の基礎から、現場で必要になる特殊メイク技術を学ぶ。誰もが驚く世界を創造する特殊メイク・特殊造形クリエイターを目指す。

■ 研究科(1年制)

全学科の3年次にあたる1年制のコース。2年制で学んだスキルをブラッシュアップし独自の強みを持ったクリエイターを目指す。

進級・卒業の要件等

【成績評価基準】

- 定期試験：各学期末にそれぞれ試験期間を設け試験用の時間によって実施する。
- 成績評価：成績評価は、A(100～80点)B(79～70点)C(69～60点)D(59～0点)で評価を行う。
- 単位認定：総合評価C以上。
実習授業教科目では課題提出評価、作品評価、出席評価(原則として80%以上)を総合して判定する。
理論教科目ではテスト、レポートによる理解度評価、出席評価を総合して判定する。

【卒業規定】

- 卒業時の取得単位が、各学科必修単位以上(2年制62単位、研究科31単位)に達している者。
- 卒業制作を制作し、その単位を取得している者。
- 所定の学費を完納していること。
- 2年制課程以上の修了者は専門士(工業専門課程)の称号が授与される。

学習の成果として目指す資格・検定

資格名称	実施機関
色彩士検定 3級	全国美術デザイン教育振興会
色彩士検定 2級	全国美術デザイン教育振興会
色彩士検定 1級	全国美術デザイン教育振興会
リビングスタイリスト	日本ライフスタイル協会
パース検定	日本パーステック協会
ファッション販売能力検定	日本ファッション教育振興協会

就職指導

【就職指導体制】

キャリアセンターでは、学生一人一人に対して、希望する業界・職業に向けての指導を行っている。それは入学前の進路相談から始まり、卒業まで様々な活動で進路指導を行っている。また、卒業生や業界とのネットワークを活かした企業研究を行い、時代に適応した求人企業を用意するなど学生の夢を実現させるサポート体制が整っている。

3. 教職員

教職員数

区分	専任	兼任	計
校長	1	0	1
教員	18	145	163
助手	3	0	3
事務職員	14	0	14
校医	0	1	1
計	36	146	182

4. キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取り組み状況

キャリア教育科目を2年間導入し、「職業観」と「社会人基礎力」の育成を図っている。
また、企業説明会やキャリアマッチングイベントなどを主催し、学生の就職・業界デビューのサポート体制を設けている。

5. 教育活動・教育環境

学校行事

- 4月 入学式・オリエンテーション
- 5月 キャリアサポートルーム(就職対策強化週間)
- 8月 夏期休暇
- 10月 Dマーケット(学校祭)
- 11月 業界 EXPO
- 2月 作品発表会
- 3月 卒業式

課外活動

学校祭、合宿・研修旅行、その他

6. 学生への支援活動

学生支援

- 就職に関する支援体制
担任とキャリアセンターが連絡を密にし、カウンセリングにより希望企業を確認し、その企業へアプローチし、インターンシップをお願いしている。また就職へ結びつけるために、履歴書の添削、面接練習、作品集へのアドバイスを実施している。
- 学生相談に関する支援体制
学生相談に関しては、担任制を取っており、定期的なカウンセリングと状況確認、就職希望調査を行っています。随時個人的な質問にも対応できるよう、カウンセラーによるカウンセリングルームを設置する等の対応も取っております。
- 学生の経済的側面に対する支援体制
学生の経済的側面に対する支援対策は、「日本学生支援機構奨学金」による申し込みをメインとして勧めている。希望者は全員貸与できている状況である。
- 学生寮等、学生の生活環境への支援体制
学生寮、学生の生活環境においては、提携寮を備えており、学校と寮管理者で学生状況を把握し、学生が買的に生活できるように努めている。
- 保護者との支援体制
保護者との連携に関しては、前期/後期開始後に、出席率や取得単位数を通知し、問題があれば個別で電話面談等実施。2年進級後には保護者面談会を実施し、心配事や不安を話し合い、今後の学生の支援を行っている。
- 卒業生への支援体制
卒業後15年間のキャリアサポートを行う体制で、就職支援を行っている。

7. 学生納付金・修学支援

学生納付金(初年度)

学科名	昼夜	入学検定料	入学金	授業料	施設設備費	合計
グラフィックデザイン学科	昼	20,000	180,000	940,000	230,000	1,350,000
イラストレーション学科	昼	20,000	180,000	940,000	230,000	1,350,000
ゲーム・CG学科	昼	20,000	180,000	940,000	230,000	1,350,000
アニメーション学科	昼	20,000	180,000	940,000	230,000	1,350,000
フィギュアデザイン学科	昼	20,000	180,000	940,000	230,000	1,350,000
マンガ学科	昼	20,000	180,000	940,000	230,000	1,350,000
コミックイラスト学科	昼	20,000	180,000	940,000	230,000	1,350,000
インテリアデザイン学科	昼	20,000	180,000	940,000	230,000	1,350,000
インテリアコーディネート学科	昼	20,000	180,000	940,000	230,000	1,350,000
プロダクトデザイン学科	昼	20,000	180,000	940,000	230,000	1,350,000
ファッションデザイン学科	昼	20,000	180,000	940,000	230,000	1,350,000
特殊メイク学科	昼	20,000	180,000	940,000	230,000	1,350,000
研究科	昼	10,000	100,000	500,000	50,000	650,000

- 合計金額は、入学検定料を除く
- 授業料については、前期・後期の分納

経済的支援措置

- 日本学生支援機構の奨学金制度
- 各新聞社の新聞奨学生制度
- 提携ローン会社の教育ローン
- 日本政策金融公庫の教育ローン
- 本校独自の奨学金制度

8. 学校の財務

財務情報に関しては下記URLの21世紀アカデミア全体の資料でご確認ください。

<https://www.akademeia21.com/financial/>

9.学校評価

自己評価・学校関係者評価

●開催日：2025年7月14日(月)

★評価ポイント（5…大変適切 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切）

基準1 教育理念・目的・育成人材等	自己評価					学校関係者評価				
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
1-2 学校の特色は何か	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
1-3 学校の将来構想を抱えているか	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1

基準2 学校運営	自己評価					学校関係者評価				
2-4 運営方針は定められているか	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
2-5 事業計画は定められているか	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
2-6 運営方式や意思決定機能は、効率的なものになっているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
2-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1

基準3 教育活動	自己評価					学校関係者評価				
3-9 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界のニーズに向けて正しく方向付けされているか	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
3-10 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
3-11 カリキュラムは体系的に編成されているか	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
3-12 各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けされているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
3-13 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
3-14 授業評価の実施、評価体制はあるか	5	4	③	2	1	5	4	③	2	1
3-15 教育目標に向け授業を行う事ができる要件を備えた教員を確保しているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
3-17 資格取得の指導体制はあるか	5	4	③	2	1	5	4	③	2	1

基準4 教育成果	自己評価					学校関係者評価				
4-18 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
4-19 資格取得率の向上が図られているか	5	4	③	2	1	5	4	③	2	1
4-20 退学率の低減が図られているか	5	4	③	2	1	5	4	③	2	1
4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1

基準5 学生支援	自己評価					学校関係者評価				
5-22 就職に関する体制は整備されているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
5-23 学生相談に関する体制は整備されているか	5	④	3	2	1	⑤	4	3	2	1
5-24 学生の経済的側面に対する支援体制は整備できているか	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
5-25 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	5	④	3	2	1	⑤	4	3	2	1
5-26 保護者と適切に提携しているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
5-27 卒業生への支援体制はあるか	5	④	3	2	1	5	4	③	2	1

基準6 教育環境	自己評価					学校関係者評価				
6-28 施設・設備は教育上必要性に十分対応できるよう整備されているか	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
6-29 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	5	④	3	2	1	5	4	③	2	1
6-30 防災に対する体制は整備されているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1

基準7 学生の募集と受け入れ	自己評価					学校関係者評価				
7-31 学生募集活動は、適正に行われているか	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
7-32 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
7-33 学納金は妥当なものとなっているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1

基準8 財務	自己評価					学校関係者評価				
8-34 中長期的に学校の財務基盤は安定しているものといえるか	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
8-35 財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
8-36 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
8-37 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
8-38 財務について会計監査が適正に行われているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
8-39 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
8-40 私立学校法における財務情報公開の体制準備はできているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
8-41 財務情報公開の体制整備はできているか	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1

基準9 法令等の遵守	自己評価					学校関係者評価				
9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
9-43 個人情報に関して、その保護のための対策がとられているか	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
9-45 自己点検・自己評価の結果を公開しているか	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1

設置者の理事名簿

2026年 5月 28日現在

役員（理事・監事）の氏名等							
No.	役職名	氏名	任 期			学内・学外の別	主な職業
1	理事長	田坂 広志	R 7年 5月 30日	～	R 11年 6月 30日	学内	学校経営
2	理事	長尾 大樹	R 7年 5月 30日	～	R 11年 6月 30日	学内	学校職員
3	理事	稲場 央人	R 7年 5月 30日	～	R 11年 6月 30日	学内	学校職員
4	理事	南野 想	R 7年 5月 30日	～	R 11年 6月 30日	学内	学校職員
5	理事	植田 宏美	R 7年 5月 30日	～	R 11年 6月 30日	学内	学校職員
6	理事	高橋 奈帆	R 7年 5月 30日	～	R 11年 6月 30日	学内	学校職員
7	理事	鴨志田 晃	R 7年 5月 30日	～	R 11年 6月 30日	学外	大学教授（外部）
8	理事	金子 直哉	R 7年 5月 30日	～	R 11年 6月 30日	学外	大学教授（外部）
9	監事	指田 光章	R 7年 5月 30日	～	R 11年 6月 30日	学外	常勤監事
10	監事	田中 勇一	R 7年 5月 30日	～	R 11年 6月 30日	学外	NPO法人理事長
			R 年 月 日	～	R 年 月 日		
			R 年 月 日	～	R 年 月 日		
			R 年 月 日	～	R 年 月 日		
			R 年 月 日	～	R 年 月 日		
			R 年 月 日	～	R 年 月 日		
			R 年 月 日	～	R 年 月 日		
			R 年 月 日	～	R 年 月 日		
			R 年 月 日	～	R 年 月 日		

※任期は令和7年5月30日～4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで